

白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

第1877回例会

令和7年11月13日  
18：30～19：30



創立40周年

○ソング

- 我等の生業

○ビジター

- 地区ロータリー財団委員会委員長 林克重様

○スマイルBOX

- 林克重様（本日はスピーチ時間ありがとうございます。）
- 藤田龍文会長（本日はロータリー財団委員長、林様、卓話ありがとうございます。今週末、ジロdeシラカワ、周年事業も合わせて行いますので、多くの会員の参加をお待ちしております。）
- 運天直人幹事（本日は地区財団委員長の林克重様、卓話ありがとうございます。幹事として必要な知識になりますので、これからも勉強させていただきます。また今月結婚記念の品を頂きますのでスマイル致します。）
- 金田昇会員（宮本会員（先生）、この度の受賞まことにおめでとうございます。地区財団委員長様ようこそ）
- 宮本多加夫会員（11月3日発表の秋の叙勲において、旭日章綬章を受章することができました。これは東北弁郷土連合会の会長職事を評価してもらったものと考えています。）
- 関谷亮一会員（ロータリー財団委員長林克重様ようこそおいで下さいました。また、先週の移動例会ご出席の皆さんありがとうございます。本日早退させていただきます。）
- 成井正之会員（10月31日から滞っていました大谷スマイルですが、Wシリーズ第6戦は記録に残る大活躍でした。2ホームラン、2ベースヒット2本、4連続敬遠、1四球と大谷翔平伝説の証言者になりました。楽しかったですね。）
- 吉成真五郎会員（誕生日をお祝いいただき、ありがとうございます。今月で64歳になります。これからも、よろしくお願い致します。）
- 山田顕一郎会員（結婚記念日のお祝いありがとうございました。お鍋にして家族でいただきたいと思います。）
- 山縣栄寿会員（本日もスマイル致します。いつも会員の皆様スマイルありがとうございます。）

▶第1877回例会出席状況（R7年11月13日）

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	55名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	18名
Ⓘ 全正会員数	73名
Ⓒ Ⓐの出席者数	16名
Ⓓ Ⓐのメイクアップ者数	0名
Ⓔ Ⓑの出席者数	10名
Ⓖ = Ⓒ + Ⓓ + Ⓔ (メイクアップ補填後の出席会員数)	26名
Ⓗ = Ⓘ - (Ⓑ - Ⓔ)	65
Ⓙ = Ⓖ / Ⓗ × 100 (例会出席率)	40%

## 本日のプログラム

### ■会長の時間

藤田龍文会長



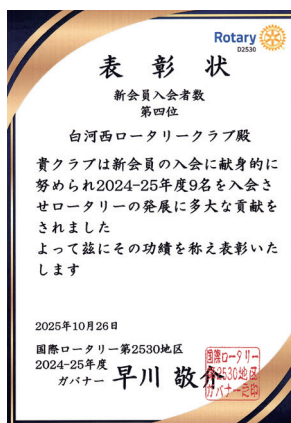
皆さん、こんばんは。本日はロータリー財団委員会の担当例会ということで、地区のロータリー財団委員会の委員長の林様をお迎えしての卓話となります。林様、後程ご紹介と卓話のほうよろしくお願ひいたします。先日、歴史文化愛好会の移動例会ということで、少しいつもと違う場所で開催しまして43名の参加をいただきまして、誠にありがとうございます。いつもとはちょっと勝手が違う場所で昼食だったり博物館を拝観するというでちょっと違う例会だったんですが、多くの参加いただきましてありがとうございます。その時にちょっと皆さんの前でご報告しようと思ったんですが、当クラブの宮本多可夫先生が旭日章綬章を受章されたということで改めてここで皆さんでお祝いというかお伝えします。おめでとうございます。そして、この1～2週間の間にグローバル補助金セミナーがあり、そして第2回の青少年交換留学派遣セミナーがありましたので、そういったところも含めてどんどん地区と事業も沢山盛り沢山ということと、来年ガバナー輩出もあります、青少年の交換留学というのがありますので、そういった部分も来年も盛り沢山になるかと思ひます。そしてまた掲示板のほうに新入会員3名予定者ありますので、そちらまたご覧いただきまして本日理事会ですのでそこで承認をいただければという形になります。ちょうど林様もいらっしゃってますので、当クラブ今の段階で今日3名入会が許可されますと、今年度も5名の入会を数えることになります。そうしますと78名になるかと思うんですけども所帯はどんどん大きくなって、今年40周年、そして来年ガバナー輩出ということで、皆さんのいろんな気運がいただけてると感じております。ただやはり、年齢層の若いクラブです、自由な気風もありますのでちょっとご覧のとおり出席率がね、なかなか伴わないところが当クラブの悩ましいところでありますが、それでもどんどん会員が増えて若い力が増えてくというのはありがたいということで、そちらの方向に向かっております。そして、先日仙台のほうで東北地区野球親睦大会がございまして、見事勝利をされたということで、吉野監督を含め大変野球愛好会の皆様ありがとうございました。そういったところで、秋はスポーツも文化もいろいろな部分で行事が大変多ございますので、そういったところ皆さんいろんな所に積極的に参加していただければということでありがたく思っております。そして今週末「城 d' 白河 Final」こちらも私も副主幹ということで例年どおりの応援はしますが、このブース内で私も社会奉仕委員会と国際奉仕委員会でロータリーの公共イメージ向上とポリオ募金といろいろな部分でまたアピールしますので、是非お時間ある会員の方は一日フルでなくても構いませんので、お顔を出していただければと思います。そういったところでまだまだ今週末は、ロータリー事業盛り沢山ではありますが、多くの皆様のご参加とご協力をいただければと思います。それでは会長の時間のほう以上にさせていただきます。

### ■幹事報告

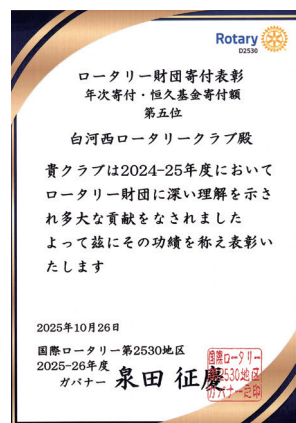
運天直人幹事

○ガバナー 泉田征慶 RLI委員会 町田晃:ロータリーリーダーシップ研究会(RLI)第8期パートⅢ 開催について(ご案内と登録のお願い)  
○ロータリー文庫運営委員会委員長 小倉純夫:文庫通信のご案内

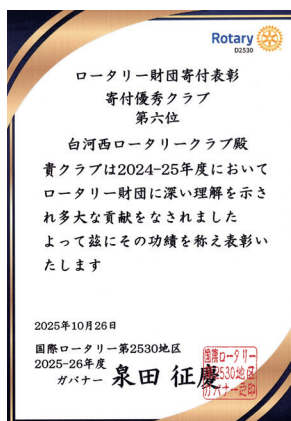
### ■表彰状の伝達



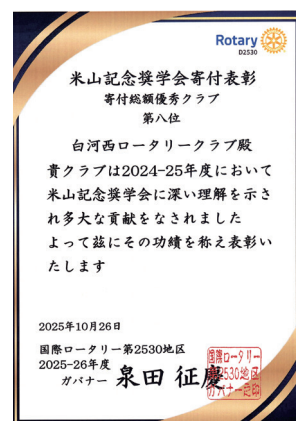
●新会員入会数第4位



●ロータリー財団寄付表彰  
年次寄付恒久基金寄付額第5位



●ロータリー財団寄付表彰  
寄付優秀クラブ第6位



●米山記念奨学会寄付表彰  
寄付総額優秀クラブ第8位



## ■各委員会報告

## ●親睦委員会

鈴木浩一郎副委員長

## 結婚記念日

遠藤敦会員、安部和夫会員、市川正人会員、運天直人会員、増子国安会員、兼子聡会員、山田顕一郎会員、菊地隆博会員

## 誕生日

沼田重一会員、吉成真五郎会員、市川正人会員、車田裕介会員、渡辺道直会員



## ●雑誌広報委員会

鈴木典雄委員長



皆さん、こんばんは、今月号の『ロータリーの友』の見どころとか読みどころを簡単ではありますが紹介していきたいと思ひます。まず縦組みの7ページ「この人訪ねて」では、操業113年の紳士服オーダー専門店4代目であり、長崎東ロータリークラブの南部光伸さんの紹介が記載され

ています。続きまして横組みの2ページ、こちらはRI指定記事となっております「RI会長のメッセージ」であります。続きまして横組みの19ページ、今月はロータリー財団月間ですので、ロータリー財団のほうからメッセージというか記事が載っております。そして、ちょっと前後しちゃいましたが横組みの5ページ、11月5日から1週間は世界インターアクト週間になってますので、日本の「インターアクトの未来への羅針盤」ということで、インターアクトに関する活動の報告の記事が載っております。

## ●野球愛好会

吉野敬之監督



皆さん、こんばんは。先日行われました東北大会の結果のほうご報告させていただきますと思ひます。先程、会長のほうからお話あったんですけど、東北大会のほうで無事一勝をあげまして、うちのチームは、公式戦一勝あげないと監督が代われないという不文律がありまして、この暗黒の2年間一勝もできずに悶々とした日々を過ごしてまいりました。この前の一回戦は、7対2という大量のリードで最終回6回の裏を迎えまして、満を持してエースS岡君を投入いたしましたところ、S岡君の大乱調によりましてノーアウト満塁という大ピンチを迎えまして、いやこのままでは、さすがに後味悪いだろうとS岡君がもし逆転を許したら後味悪いだろうなと思ってわたくしが昔、炎のストッパーと言われてまして、よく炎上するので炎のストッパーと言われてたんですけど、そこはタイムをかけて私が「俺が行く」と言って登板いたしまして、最初のバッターはピッチャーゴロに抑えたんですけど、次のバッターはなかなか打ちそうだったので悔しいのでデッドボールにしてやりました。頭部デッドボールでこれは野球の試合の規定がございまして、80分をまたいで80分の時点でピタリ終わると。そのデッドボールの直前が79分くらいだったんですよ。打たれるよりはデッドボールがいいかなと思ってというの

は冗談ですけど、本当に手元が狂ってデッドボールで頭に当たってしましまして、丁寧に謝っている最中に審判の方が「もうお時間なんですけど、どうしましょうね。とっても盛り上がってますけど。」と言われたので、私の立場としてはやめたいけどやめたいとは言えないので大会本部に聞いてくださいと言ったら、大会本部のほうは時間だからやめましょうということで、無事9回裏ツーアウト満塁7対6で80分を迎えて無事一勝ということで、やっと私も監督をこれで退任させていただけるということでご報告をさせていただきます。それと続きまして、ちょっと野球の話ではなくて、12月6日に行われます次年度ガバナー金田昇さんの国際協議会の壮行会。皆さんのほうにご案内行ってるかと思うんですけども。大変大勢の方の参加者をしていただきましてありがとうございます。最終の申込日が明日で締め切りとさせていただきます。まだまだ席に余裕がありますので是非、まだ参加の表明漏れの方がいらっしゃいましたら地区副幹事の諸橋さんのほうまでご連絡していただければということです。まだご存じない方いらっしゃるかと思いますけれども、一応私が実行委員長で会長が副実行委員長に決まりました。ということですので、二人が伏して頭を下げさせていただきますので、更なる大勢のご参加のほうよろしくお願ひいたします。

## ●宮本多可夫会員



貴重な時間、若干わたしごとですがご報告させていただきます。去る11月3日発表の叙勲発表におきまして、わたくしが旭日章授章を受章することになりました。非常に言いにくいんですけど、私、東北弁連の会長を歴任しましたので、そういうところが評価されての今回の授章ということになったというふうに理解しております。授与式はこれから

なんですが、11月28日最高裁判所に司法関係の受章者は最高裁判所に集められて、これは夫婦で参加できるんですが、最高裁判所で授与いただきまして、その後バスで皇居に向かって天皇陛下に拝謁するというようなスケジュールが組まれております。そういう事をしながら皆さんいろいろご報告あるような場合にはご報告しながら、あるいは今後のまだ今何も決まってはおりませんけどもいろんな事で皆さんにご迷惑ご協力いただくような場面もあるかもしれませんが、その時はよろしくお願ひしたいと思います。どうもありがとうございました。

## ■本日のプログラム

ロータリー財団委員会担当例会

## ●ロータリー財団委員会

諸橋和典委員長



皆さん、こんばんは。ロータリー財団委員会の委員長の諸橋です。11月はロータリー財団月間となっております「世界でよいことをしよう」というテーマのもと、ロータリー財団が活動してますけれども、ロータリークラブの事業というか活動の中で非常に大事な部分だと思います。今度日曜

日行「城 d' 白河 Final」についても、ここでおこなう公共イメージのアップについても地区補助金を使わせていただいております。なので、ロータリー財団とすればお金を使っていた

だくところ、あと世界に対してポリオの撲滅運動というので良いことをしようというような非常に大きな事業をおこなっております。それでちょっと先程地区大会の表彰がありました。こちらは各クラブがどれくらい、寄付をしているかとかそういうところがでてんですけども、人数が多い所がやっぱり寄付金の額とすれば多いんですが、一人当たりの寄付額というのがありまして、こちらは大体ガバナーが出てくるクラブが実は多いです。ちなみに、今年度は浪江ロータリークラブが2024-25年のデータで一人当たり358ドルですね。昨年度は、早川ガバナーが在籍してる郡山北ロータリークラブが239ドル、そういった額になってます。ちなみに、白河西ロータリークラブは昨年度の実績として一人当たり233ドルになっております。地区目標とすれば150ドルという目標にしております。なので、そういったところの底上げをしたいというようなこともありまして、今回は地区のロータリー財団の委員長であります林克重さんにお話を聞きまして、皆さんのそういった寄付する意味合いとか、寄付する気持ちよく寄付していただけるような気持ちになってもいいかなと思っております。講師の林さんをご紹介したいと思います。

2530地区のロータリー財団委員会委員長の林克重さんです。福島南ロータリークラブ所属で、職業分類印刷業となっております。地区の委員会の委員長2年目となります。わたくし昨年まで出向してまして大変お世話になりました。財団委員会の委員長は大体3年をやるという予定で金田年度にもロータリー財団委員長としてやっていただく予定となっております。ということで、よろしくお願いします。

## ●国際ロータリー第2530地区

2024-25年度ロータリー財団委員会委員長 林克重様



おばんでございます。地区の財団委員長をさせていただいております林と申します。今日はお時間を賜りまして誠にありがとうございます。美味しいご飯を先に食べてゆったりした気持ちで卓話を聞くといいかなと思ってました。実は昨日うちのクラブで諸橋さんの後任のポリオ資金推進委員長の卓話をさせていただいたんですけども、昼の例会でかなりこう詰め詰めの例会だったものですから、本当にゆったりした雰囲気なくて申し訳なかったなと思いつつ、今日はこちらにお伺いしたらいい感じですね。すごい金田エレクトの気持ちがこういうふうに出てくるのかなと思いつつ、今この場に立たせていただいております。白河西ロータリークラブさんの財団の資金を使った補助金を使った最近のデータをちょっと調べてまいりました。今年は「城 d' 白河」ということですごい私たちも期待をしております。これからどういうふうに皆さんにロータリーの事を知っていただけるかというチャンスがあるのかなと思っております。あと、「ベースボールウインターキャンプ」これは野球のキャンプですかね。子供たちにプロの選手に野球の指導をしていただくということだったと思います。あとは食育プロジェクトですね。とても大切なベースを支えていたと思っております。あと、音楽文化の向上ということで、地域の小中学校に楽器のプレゼントをすると。あと、プラス演奏会のような事までやったというような、これを見ると

いかに白河西クラブさんがバラエティにとんだ内容の地区への地域への地元への奉仕ができてるとないうことで、すごい感心してこの資料をまとめてました。最近多いのが毎年似たような事が続くパターンが多いんですけども、こうやってこれほど違うスポーツだったり文化だったり、あとは地域全体を巻き込んだことであったり、そんなことができるというのはやはりクラブの力だなと、それが地域にとっても役立っているのを感じました。まとめる段階ですごい感じました。本当にありがとうございます。

白河地域青少年 音楽文化向上支援プロジェクト：白河地区の小中学校には音楽部・吹奏楽部が9校あり、楽器修理、および購入の資金を補助し、修理、購入した楽器でコンテストにて演奏発表する

未来ある子供たちへの食育プロジェクト「環境」という新たな重点分野の追加を受け、食料の大切さ、食べることの重要性、フードロスなく意義を地域の子供達に理解してもらい継続してもらう

ドリームベースボールウインターキャンプこれからの担い手子供たちに、野球というスポーツを通して憧れのプロの選手に直接指導を受ける

第12回J-Ride シラカワへ協力「福島復興サイクリングロードレース」ブースを設置する。

福島県白河西 (2530) Rotary 寄付詳細レポート 地区番号 2530 基金年度: 2024-25

年次基金への寄付	寄付総額	寄付詳細レポート
2025-26	8,989ドル	2025-26
2024-25	8,189ドル	2024-25
2023-24	6,452ドル	2023-24
2022-23	6,706ドル	2022-23
2021-22	4,998ドル	2021-22

年次基金	寄付総額	寄付総額 (ドル)
2025-26	8,989ドル	8,989ドル
2024-25	8,189ドル	8,189ドル
2023-24	6,452ドル	6,452ドル
2022-23	6,706ドル	6,706ドル
2021-22	4,998ドル	4,998ドル
寄付合計	35,234ドル	35,234ドル

ちなみに、この表の下の方に小さい文字で書いてあるんですが、年次基金寄付への寄付の金額でありまして、寄付総額でありまして、様々な数字を並べております。これはマイロータリーから地区の寄付のクラブの寄付を調べる場所があるんですけど、そこに行くと寄付の詳細等々がありまして、それで見ると年度ごとの自分のクラブがどうだったかというのはすぐ見れるようにマイロータリーはなっておりますので、是非皆さんもマイロータリー開いたことない方いらっしゃると思います。正直に手を挙げてみてください。決してあの、すごい、全部ですか。まさかそんなことはないですよ。大体、訪問してこういう話してマイロータリーどうですか、入ったことありますかと聞くと、半分くらいは開いたことがないという方がいらっしゃるって、あと半分はまあ開いたことあるよということでもあります。マイロータリーの中ではラーニングセンターというのがありまして、是非財団のことも含めてロータリー全体のことを、今何項目ぐらいですかね、確かコースでいうと100コースくらいあるんだと、そこで30コースくらい大きな項目があるはずなので、是非トライをしていただければと思います。ただ、実際こうやって白河西クラブさんの活動を見てるとマイロータリーに学ばなくても十分ロータリアンの方は沢山いらっしゃるんだということは感じられます。ただ、マイロータリーをやると世界のロータリーのことがわかったり、またはこれからロータリーが向かっていく、また逆に日本のロータリーの良さがわかったりすることがあります。会員増強のページ、今私クラブで会員増強委員長させていただいてるんですけども、こちら素晴らしい今年に入って5人増強ということで羨ましい限りであります。その増強する時にどういうふうにしたほうがいいんだよという事例も沢山持っていて、あと今例えばパワーハラスメントってすごいハラスメントって言うんですかね。すごく我々注意しなさいということを言われてます。ハラスメント教育のコースもあるんですよ。これは多分会社のトップである我々が、そのハラスメントというのはどういうことなのかしっかり理解する上にはマイロータリーすごいいいです。是非そこだけでもいいから見ていただくと、ハラスメントがどういうことなのかよくわかるんじゃないかなと思います。さ

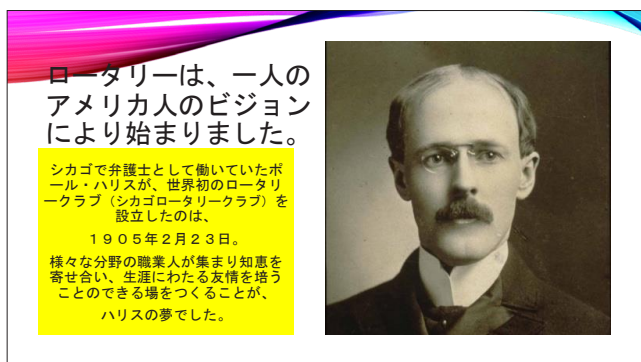


て、少し中身に入らせていただきます。ロータリー財団は皆様からのご寄付を「世界でよいことをしよう」という目標に向けて一つにまとめて、ここから各地でまたは世界で良いことに役立てていると。ポリオも当然ナンバーワンであります、それが財団の目標であります。



ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

ロータリー財団の使命、どうでしょうか。実際に読み上げてみますか、ロータリー財団の使命。ロータリー財団の使命はロータリー会員が人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて世界理解、親善、平和を達成するようにするということです。世界平和が我々の目標です。今、残念ながら戦争があちこちでまだまだ収まらない状況ですが、ポリオが収まらないということ、戦争が収まらなかったり、貧困も収まらなかったり、そこがポリオの発祥の源になってるというのは皆さんよくご存じだと思うんですけど、どうでしょうか。我々の皆様からいただいたお金の一部が間違いなく世界に届いて、こういうことに向けて使われているというのをご理解いただけたらと思います。



ロータリーは、一人のアメリカ人のビジョンにより始まりました。

シカゴで弁護士として働いていたポール・ハリスが、世界初のロータリークラブ（シカゴロータリークラブ）を設立したのは、1905年2月23日。様々な分野の職業人が集まり知恵を寄せ合い、生涯にわたる友情を培うことのできる場をつくるのが、ハリスの夢でした。

はい、この写真。見たことない人。おっ、素晴らしい。今日はいらっしやいましたね、やったー。会長、この人誰でしょう。はい、ポール・ハリスさんであります。すごいこのロータリーの始まりの一步を、ポール・ハリスと3人の仲間が4人で始めたというのが今から120年くらい前ですかね。1905年2月23日に、ロータリーは産声を上げました。様々な職業の方達がこのように一堂に

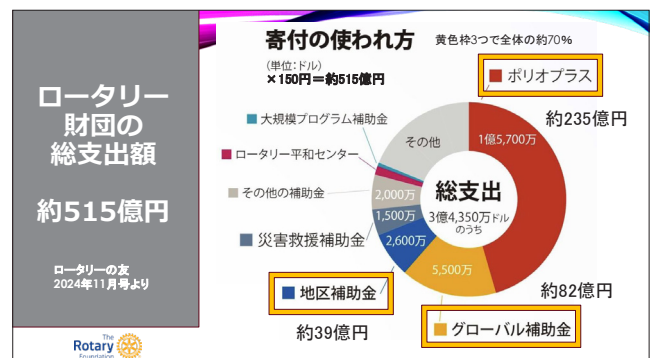


ロータリー財団の父  
アーチ・クランプ

- ・1917年、当時のロータリー会長アーチ・クランプが「世界でよいことをするための」基金の設置を提案。始まりは、26ドル50セント
- ・1928年基金の名称がロータリー財団となり、初代財団管理委員長に4年後には5万ドルの寄付

会して、そこの皆さんの力を使っていい友情をつくり生涯の友をよりもう少し広げていく。または自分の仕事を磨きこんで高めていくということがハリスの目標だったと思います。

次の写真、これねちょっと減るですよ。この人知ってる人と言うと、大概知ってる人と言ったほうがこれはいいと思います。この写真を見たことある方いらっしやいますでしょうか。はい、幹事さん、やったー。ちょうどねらい目です。財団委員長の諸橋さんと金田さんが存じていたと、見たことあると。これはロータリー財団の父アーチ・クランプであります。ロータリー財団を作ろうと、またまず最初の一步を世界でよいことをするため基金を作りませんかというのを世界大会で、まだその頃の世界大会ってほんの小さな世界大会だったんですけど、1917年に提唱しました。それで集めたのがなんと26ドル50セントだったそうです。それが約10年後に1928年にロータリー財団という基金を作りましょうということが正式に承認され、それからやっとアーチ・クランプさんが管理委員長になって、それで5万ドルという寄付の塊が集まりました。ここがロータリー財団のスタートだと思っております。



次、寄付の使われ方です。皆様からお預かりした寄付がどのような形で使われているか。これが去年のデータであります、このような形になってます。ポリオプラス、どのくらいですか、三分の一以上ですね。グローバル補助金、白河西クラブさんではグローバル補助金は今まで経験はなさったことないですか。後でちょっとお話することがあります。あと次が地区補助金ですね。これは日頃皆さんにお使いいただいている金額の割合になります。その他に様々の使われ方がありますということです。年間でいうと515億円です。素晴らしい金額になりますね。これが実は寄付をいただいて、まあ様々な補助金で今のよう形で、様々な活用をしていただいて地区補助金を使っただけ、グローバル補助金を使っただけ。また、それがその集めたお金が世界に役立つということが一つの循環です。すよという話を、ついこの間ロータリーの日本事務局の財団室の近藤かおりさんという方が当地区でスピーチをしていただきました。グローバルゼミナールの講師としてお見えになったわけですが、その時にそこにいたクラブの皆さんもそうだったのですが、寄付をする事と自分たちの活動する事とがなかなかリンクできてない。この図を見た時に自分達の寄付がしっかり自分達の役に立ってたり、それは例えば「城 d' 白河」を皆でやりましょと、それが多くの方達のために役立ちましょというような事をやるということで、クラブの皆の共感もそうですけれども、あと地域の方達の共感もそうですよね。様々な共感だったり感動だったり経験できると。それは信頼に繋がることですよということで、それが会員増強に繋がってって、また次の

皆様のありがたいご寄付に繋がるというような話をして帰られました。

**ロータリー財団  
資金の  
使われ方**

1. 年次基金寄付  
3年間運用され管理費を5%差し引いた95%の各々50%が地区財団活動資金(DDF) 国際財団活動資金(WF)となる。
2. 恒久基金  
元金を使わず、運用費のみを地区・ロータリー財団で使用する。
3. 使途指定寄付  
ポリオプラス・恒久基金へ寄付・地区基金・冠名寄付へ目的を指定し寄付ができる。

**財団のプログラム**

1. ポリオプラス 2. ロータリー平和フェローシップなど

**補助金**

1. 地区補助金 2. グローバル補助金 3. 災害救援補助金 4. 大規模プログラム補助金

ロータリー財団の資金の使われ方はちょっとここに再度また書かせていただきました。年次基金の寄付、先程の表で年次基金の例えば白河西さんのご寄付が3年後に運用益と共に約25～30%くらいクラブに戻りますと。それを活用して様々な活動していただきたいということでもあります。その他にその皆様のご寄付がポリオで役立っていたり、またグローバル補助金に役立っていたり、グローバル補助金の中でいうとグローバル奨学生もグローバル補助金を使って世界に羽ばたく若者の支援ということもやっております。あと、次に恒久基金ですね。ポール・ハリス・フェロー、1,000ドルを寄付していただいた方に対する認証とかいろいろ様々な認証がありますよね。あと、恒久寄付に年に1人ご寄付をいただきたいというのが地区の目標の一つでもあります。ベネファクターという仕組みであります。この恒久寄付は、例えば1,000ドル寄付するとその運用益だけをロータリーの様々な活動に使うと。この1,000ドル寄付したやつはそのままずっと積み立てておいて運用益を使うというのが恒久基金です。あと、使途指定寄付というのは様々なロータリーのプログラムのこれに寄付したいというようなことがあります。ちなみに、地区の基金というのがうちの地区にありまして、子供のための未来基金ということで、今約10万ドルくらいまでやってきました。毎年毎年ちょっとづつ積み立てて、25万ドルになると実はその基金の収益金が地区にそのまんま地区補助金として使える金額として、または地区の奨学生に使える金額として様々な形で戻ってくるという仕組みであります。

**年次基金 - シェア**

ご寄付は3年間投資され、寄付の47.5%ずつがDDF(地区財団活動資金)とWF(国際財団活動資金)、5%が運営費となります。地区補助金・地区活動やロータリー財団の活動に活用されます。

年次基金  
シェア  
へのご寄付

ご寄付は3年間投資され  
その収益が財団の運営に  
活用されます

国際財団活動資金  
(管理委員会が決定)

地区財団活動資金  
(DDF)  
(地区が決定)

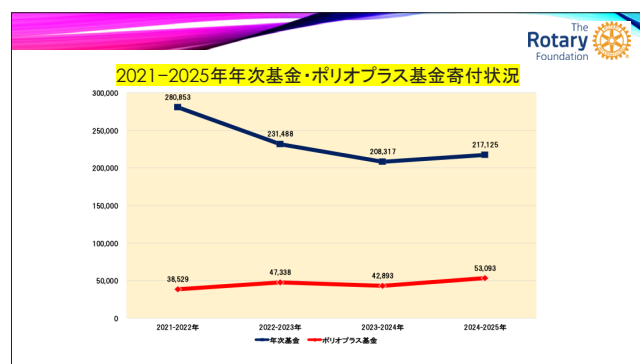
グローバル補助金  
と各種プログラム

地区  
補助金

グローバル  
補助金

なかなか25万ドルまではいかないんですけど、少しづつ貯めて地区のために自動的に収益上がってくるやつを狙っております。それは様々な地区基金ということでもあります。あとは財団のプログラムが皆さんがよくわかってらっしゃるポリオプラスであったり、ロータリーフェローシップというのはちょっとなかなかこの地域にはあまり馴染みがないんですけども、世界

平和のために大学で学ぶというのがコースがあります。それが今、世界で10校くらいですか指定校があって、日本では基督教大学がその講座を持っています。そこに様々な国から来て学んで帰ると。その為の経費ということでもあります。あと下に補助金というのが、地区補助金、グローバル補助金、様々な補助金があります。年次基金のシェアということでもあります。これは皆様から預かった分を3年間、年次寄付金の場合は3年間に皆様に地区へですね、地区へまず40何.5%戻ってきます。残りは40何.5%は世界のために使うお金になりますから、ポリオを含めた。その事でまず二つに分かれます。その二つに分かれた一つは地区財団活動資金。もう一つが、国際財団活動資金ということで二つに分かれて、そのまた半分がそれぞれの特に地区活動資金の半分が地区補助金として皆さんにやっていただくお金のベースになります。これを資金の枯渇を防ぐために、こういう仕組みがしっかりできてきたということでもあります。



最近の2530地区のポリオプラスと年次基金の推計です。ドル表示なので円安の影響かなり受けてることと、あと少し会員が減ってるということも含めて、ちょっとずっと右肩下がりだったんですが、去年は少し回復し始めました。というのが年次基金です。ところが、下に書いてある赤いラインですね。ポリオプラスなんです。ポリオプラスは皆さん本当にご協力いただいて減ってないんですよ。人数減ってたり円安になっても全体の寄付額はドル換算で減ってない。素晴らしいことだと思います。

**2025-26年度  
地区財団目標**

「より大きなインパクトをもたらす事業の推進」

「ポリオについて理解を深める」

「公共イメージ・学友委員会との連携協力」

1. 年次基金 \$150/一人～「寄付0クラブ」をなくそう！
2. ポリオプラス基金 \$30/一人～「寄付0クラブ」をなくそう！
3. ベネファクター \$1,000 恒久基金へ寄付/クラブ1名以上
4. ポールハリス・ソサエティ加入推進 100名  
(毎年 \$1,000を継続約束する方へ認証)
5. ポリオプラス・ソサエティ加入推進 100名  
(毎年 \$100を継続約束する方へ認証)
6. 「ロータリーカード」の加入推進

次に今年の25～26年の地区の財団目標です。これは多分金田年度も内容的には同じようなことが継承されていくかと思っています。年次基金が一人150ドル寄付ゼロクラブをなくしたい。ポリオプラスの寄付を一人30ドルお願いする。当然寄付ゼロクラブをなくしたい。あとベネファクター、これをクラブ1名ということのお願いなんですけど恒久基金への寄付。15万数千円になってしまいますが、是非よろしくお願いします。ポール・ハリス・ソサエティとポリオプラス・ソサエティ、この二つなんで



すが、ただ単に入会して認証していただきたいということではあります。ポリオプラス・ソサエティのほうは年間100ドルをポリオプラスにご寄付をしようかなと思われる方、諸橋さんに申し込み用紙沢山お渡ししました。後程、皆さんに書いていただければありがたいと思います。あと、ポリオプラス・ソサエティは年間1,000ドルです。これ年間1,000ドルって大変だなんて思われますが、皆さん自分たちの年間ご寄付した時に数字って確認してますか。自分が一年間幾ら寄付したか。毎年ちゃんと確認してらっしゃる方いらっしゃるでしょうか。なかなかいらっしゃるんですね。だから、是非一度確認していただくと結構十分やってらっしゃる方多いです。その方達にまず入っていただいて、あとは次の皆さんにまた入っていただくという方向で100名づつであります。あと、ロータリーカードの加入推進ということを今地区では目指しております。

**地区補助金  
受領の  
3つの条件**

- ・すべての財団補助金はロータリー財団の使命に関連していること  
健康状態を改善、質の高い教育を提供、環境保全、貧困の根絶をもって世界理解、親善、平和を構築する
- ・R財団セミナー参加+MOU提出
- ・会員が積極的に参加する事

**ロータリー会員が  
自ら汗を流す活動**

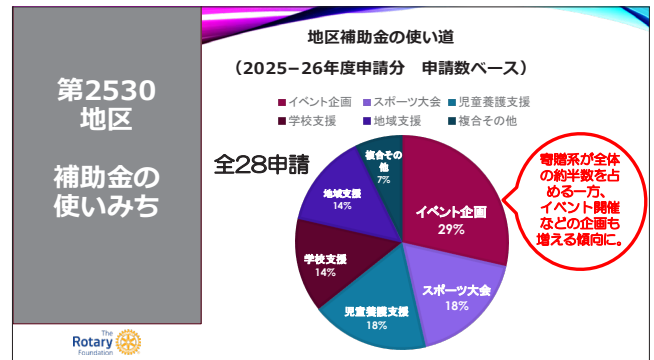
すべての補助金はロータリー財団の使命に関連して、これ地区補助金の事業の3つの条件ということになります。ロータリーの方向性と一緒のことです。あと、ロータリー財団セミナーに参加する。あとMOUの提出。これはもうしっかりやってらっしゃるので大丈夫かと思いますが、一つ、会員が積極的に地区補助金の活動であったり、社会奉仕であったり、様々な事に参加していただくというのが一つのお願いであります。ロータリー会員自らが汗を流して活動すると何が起きるでしょうかね。多分そこには感動だったり、あと充実感だったり、あと仲間としてそれぞれが認め合うという時間になるんじゃないかなと思っております。

**地区補助金  
の詳細  
授与と受託  
の条件**

**地区補助金  
授与と受託の  
条件は、My  
ロータリーで  
ダウンロード  
出来ます。**

是非皆さん、よろしくお願ひします。次のページは地区補助金の詳細です。授与と受託の条件。これを諸橋さんは何回かもう読んでますよね、授与と受託の条件。是非読んで、うまく活用してください。地区補助金の活用は様々できますよということが書いてあります。

あと、うちの地区の補助金の使い道の%で示した図です。イベントの企画、スポーツ大会、子供のための支援金だったりということで、イベントが今27%ぐらいです。スポーツ大会が



18%。児童、子供の支援が18%ということで、子供向けに使われてるのが三分の一ぐらいですか。あとは、イベントとかスポーツ大会。あと残りが地域支援とその他ということになっています。是非ご活用をお願いしたいと思います。

**今年度の  
申請事例**

クラブ名	タイトル	カテゴリー	補助金(円)
福島	75周年記念事業	一般	1,115,000

**福島ロータリークラブ 75 周年事業として (1)ベビースタイ寄贈事業:授産・生活困窮者と就労B型者が働く(社福)福島縫製福祉センターで作成したベビースタイを福島市へ寄贈し、乳児のいる全ての家庭に配布する。この事業を通じ、母子の健康維持・地域経済発展、生活困窮者等の自立を促す。**  
**(2)「スポ GOM大会 in ふくしま」**

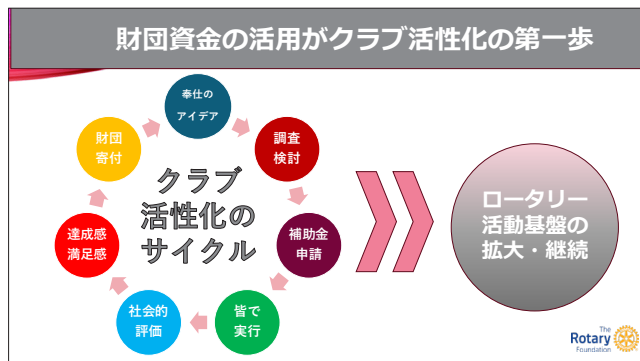
**今年度の  
申請事例**

クラブ名	タイトル	カテゴリー	補助金(円)
梁川	昆虫観察会	教育 環境保全	95,000

**小学生30名程度募集し、公園内の昆虫を採集し、標本作りを行う。採集した標本をデータとして記録し、希望の森の生き物リストとして蓄積する。地区補助金は子どもたちが使用する昆虫採集用品と標本作製のための費用の一部に当てる。なお、子どもたちが使用した昆虫採集用品と標本は無償配布する。**

ちなみに、今年度の申請事例の中でちょっとユニークなやつがありまして、福島ロータリークラブさんが75年事業で、福島市にある福島縫製福祉センターというちょっと精神的に障害のある方とか体の少し不自由な方達がそこで働いているという場所です。そこに子供のよだれかけ、赤ちゃんのよだれかけを発注して、そこにお支払いをまずすると。それをメインにして、その子供用のよだれかけに実はロータリーのロゴマークが入っているよだれかけができます。それを4か月健診の子供たちに差し上げてくださいということで、福島市に寄贈するというような事業であります。それで一つは様々なトラブルを抱えたり障害抱える人たちのお金に少しでも役立てようと。あと、それを子供たちに幼児に差し上げる事でお母さんたちに支援してる人いるんだよというのを少しでも知らせようと。それプラス、先程の公共イメージのロータリーマークを皆さんのご理解をいただく場所に提示するというような事を展開しています。すごいユニークだなと、大きな輪になるような活動だと思って今日は挙げさせていただきました。あと、これやるのはロータリークラブ様は地元の公園で昆虫採集をロータリアンと共にやって、それを昆虫採集のした物をそれぞれ記録して、それ

が子供たちの為にまたはその標本が様々な方向に生かされるというようなことであります。



次にある地区補助金の申請スケジュールです。これは毎年大体このような流れであります。詳しくは読んでいただければと思います。もう一遍ちょっと最初に戻りますね。クラブの活性化のサイクルというのはどういうことでしょうか。例えば、今回白河西ロータリークラブさんの様々な地区補助金を使った活動を見ると、奉仕のアイデアが沢山あるクラブだと。それをちゃんと地域で調査して、会員の意見を吸い上げて、補助金の申請をしてみんなでそれを実行する。それが社会的に評価を得て、それが達成感だったり満足感だったりというのをクラブの会員が得ることができる。それが財団の寄付にまた繋がって次奉仕のアイデアに繋がるというサイクルです。ロータリー活動の基盤の拡大だったり継続というのが生かされるのではないのでしょうかということでもあります。

**財団寄付のお願い**

◆「国際ロータリー(各クラブ)」と「ロータリー財団」の運営◆

RI (クラブ) ⇒ 会員のみなさまの「会費」等  
TRF (財団) ⇒ みなさまの「善意の寄付」のみ  
言い換えると・・・

**みなさんからの「善意の寄付」が無くては  
「ロータリー財団」は「活動ができない」**

よって、少しでも多くの**財団寄付**をお願いします！

財団寄付のお願いです。度々お願い事ばかりですみません。皆さんからの財団のご寄付がなければロータリー財団は維持できません。活動もできません。ロータリークラブ、国際ロータリー、RIのほうは会員の皆さんからの会費、これは義務として皆さんからの会費いただいたものが運営資金になったりしますね。TRF、財団は皆様の全員の寄付でしか運用する、または活動するお金になるということはそれしかありません。是非皆さんの善意の寄付をよろしくお願いを申し上げます。こ

年次基金と寄付・認証の手引き

**クラブのバナー認証**

- 「Every Rotarian, Every Year」クラブ
- 100%ロータリー財団寄付クラブ
- 年次基金への一人当たりの寄付上位3クラブ
- 100%ポール・ハリス・フェロークラブ
- 100%ポール・ハリス・ソサエティ・クラブ

れは寄付をした時の様々な認証があるんですけど、ポリオプラス・ソサエティだったり、PHSはポール・ハリス・ソサエティ。さっきのお願いしてた入会のものです。

あと、様々な寄付をいただくとそのいただいた内容によって様々な種類がありますというのをちょっと表にしてお見いただきました。クラブバナーの認証です。100%ロータリー財団寄付クラブは白河西さんは取ってますよね。確か。何年前でしたっけ。毎年、ああそうですか、素晴らしいですね。これは素晴らしいことだと思います。

あと、一番下は100%ポール・ハリス・ソサエティクラブは取られてますか。これね、PHFをあれポイントの換算になるじゃないですか。あのポイント換算したやつをまだ1000ポイントにならない新しい会員の方にも1000ポイントづつ分けてあげると、リスト作ってPRFに出すだけで100%ポール・ハリス・ソサエティクラブになれるということでもあります。そうすると、外国に行った時にびっくりしたんですけど、ジャンパーの背中に100%ポール・ハリス・クラブというのがユニフォームにそれがプリントして着てるクラブがありました。これクラブでは一回しか取れないんですよ。記念として是非トライをしてみるといかがかなと思っております。入会のお願い、様々なお願いがあります。あとロータリーの夢。これはやっとここまで来ました。まだまだです。皆さん、よろしくお願いします。エンドポリオ、パンフレット皆さんのとくにクラブにお配りしたと思います。是非ご活用ください。「城 d' 白河」の時に配っていただければありがたいとも思っております。よろしくお願いします。あと、ロータリーカードはもう皆さん口酸っぱくなるぐらいお願いしてありますので、よろしくご協力をお願いします。諸橋さんがロータリークラブのカードに関してはプロでございますので。あとグローバル補助金の内容も、これちょっと最後にこれだけ大きくして、これついでこの間TRFから来たビデオを見て下さい。

～～ビデオ上映～～

はい、ありがとうございました。以上で私のお話は、すみません途中ですっ飛ばしてしましまして。なんとなく楽しかったです、皆さんとお話ができてありがとうございました。

